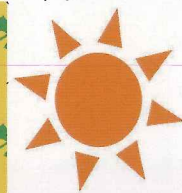


再生可能エネルギー連続講座

宝塚再エネかれっじ



豊かな環境のなかで人々が安全に暮らせるように、NPO法人新エネルギーをすすめる宝塚の会は、「再生可能エネルギーでまちづくり」を合言葉に活動しています。多くの市民が再生可能エネルギーに関心を寄せ、普及に熱心に取り組んでいます。まだまだ十分ではありません。特に次代を担う若者の活躍が期待されることです。今秋、様々な観点から再生可能エネルギーについて考える連続講座を開催します。幅広い方々の参加をお待ちしています！

◆ 第1回：地球温暖化防止

なぜ再生可能エネルギーへの転換は急務なのか！

講師：豊田陽介さん（気候ネットワーク主任研究員）

9月17日（土） 14：00～16：30

宝塚市立男女共同参画センター・エル 学習交流室1AB

◆ 第2回：世界の再生可能エネルギー事情

再生可能エネルギーが地域にもたらす経済効果～ドイツの経験と日本の可能性～

講師：ラウパッハ＝スミヤ・ヨークさん（立命館大学経営学部教授）

10月22日（土） 14：00～16：30

宝塚市立男女共同参画センター・エル 学習交流室1AB

◆ 第3回：バイオマスエネルギー

日本にも豊かな森林資源があった！

講師：岡本繁幸さん（一般社団法人徳島地域エネルギー若手プロジェクトリーダー）

11月5日（土） 14：00～16：30

宝塚市立男女共同参画センター・エル 学習交流室1AB

◆ 第4回：食とエネルギーを結んで

食とエネルギーの地産地消

講師：川合眞一郎さん（甲子園大学学長）

12月7日（水） 14：40～16：10

甲子園大学

備考：第四回は甲子園大学フードデザイン学科「食と地域の実践演習」の一環として開催します。

※ 各回とも参加費は無料です。

主催：NPO法人新エネルギーをすすめる宝塚の会

共催：甲子園大学

後援：宝塚市

連絡先：0120-34-1733（相談窓口）090-1156-1381（中川）

講師からのメッセージ

◆ 第1回：地球温暖化防止

地球温暖化問題は国際的に議論されていますが、緊急の対策が講じられなければ、ごく近い将来において私たちの生活全般に深刻な影響が及ぶことは確実です。まずは広範な情報を得て地球温暖化の現状を直視し、再生可能エネルギーの果たす役割を考えたいと思います。日本の再生可能エネルギー普及の遅れや、市民にできることについて考えてみましょう。

◆ 第2回：世界の再生可能エネルギー事情

ドイツは2000年から平均で毎年2兆円という金額を再生可能エネルギーに投資し、今や電力発電量の30%以上を再エネが占めています。その主な担い手は市民・農家・自治体・地元企業です。再生可能エネルギーの普及は地球温暖化防止だけでなく、地域経済の活性化にも貢献します。ドイツのエネルギー転換政策の現状や地域の事例を紹介しながら再生可能エネルギーによる地域経済効果の仕組みを解析し、日本における可能性を探ってみましょう。

◆ 第3回：バイオマスエネルギー

近年、エネルギー資源の枯渇、地球温暖化、地方の衰退など様々な問題が顕在化してきました。そうした状況において、木質バイオマスエネルギーはこれらの問題を解決する可能性を秘めています。地域に眠ったままで活かされていない木質バイオマス資源に注目し、人にも自然にも優しい持続可能な環境づくりのために何ができるか考えてみましょう。

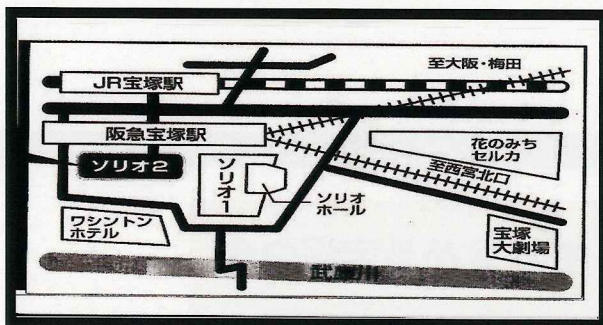
◆ 第4回：食とエネルギーを結んで

農産物の地産地消は各地で根付いてきましたが、近年、水力・風力・バイオマスなどにより生み出した電力を地元で消費しようという動きが身近になってきました。さらに、農地で太陽光発電をしながらソーラーパネルの下で作物を栽培する「ソーラーシェアリング」が注目されています。今後の見通しなどを議論しましょう。

会場へのアクセス

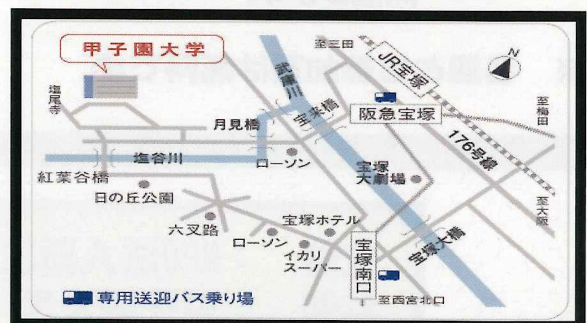
宝塚市立男女共同参画センター・エル

JR・阪急宝塚駅下車すぐ
「ソリオ2」4階が男女共同参画センターです。



甲子園大学

JR・阪急宝塚駅、阪急宝塚南口駅から徒歩約20分
専用送迎バス（無料）で約7分



本事業は2016年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催します。